薬液注入工　九州フィールド対象NETIS技術等選定一覧

□ 工法比較表対象技術　□ 新規対象技術（調査中）　□ 削除技術

令和8年10月現在

※「活用状況（本省）」欄にNETIS掲載期間内の大まかな活用件数を記す。☆＝500件以上、◎=100件以上、○=50件以上、□=20件以上

（注）NETISホームページへ移動しない場合は、ファイルをダウンロードしてご使用ください。

	技術名	NETIS番号	AVG	アブストラクト	区分	分類1 Lv.1	分類1 Lv.2	分類1 Lv.3	分類1 Lv.4	技術の位置づけ	活用効果評価	活用状況（本省）※	掲載期間終了技術（終了時期）	生産供給体制（機械保有台数等）	備　考	NETIS HPリンク先（注）
1	浸透固化処理工法	KT-990230	VG	本技術は、既設構造物の直下に浸透性の高い薬液を浸透注入する地盤改良技術で、従来は、超微粒子セメントで対応していた。本技術の活用により、1回の注入で直径2～3mの大きな改良体を作成でき、削孔本数が低減できるため、経済性が向上する。	工法	共通工	薬液注入工	薬液系	特殊シリカ系	[設計比較][活用促進]	有	□	2017/4/20	ボーリングマシン70台、薬液注入ポンプ100台		-
2	曲がり削孔工法	KT-060120	VG	本技術は、構造物直下等の地盤改良を目的として地盤中の計画路線に対して正確に誘導削孔する技術である。従来は地上からの直斜削孔や立坑からの水平削孔で対応していた。本技術の活用により、削孔精度と長距離施工性の向上、工期・コスト低減が期待できる。	工法	共通工	薬液注入工	その他		[H26準推奨][設計比較]	有		2017/4/20	曲り削孔機10台、薬液注入ポンプ100台		-
3	超音波振動注入工法	CB-180008	A	本技術は超音波振動を併用しながら施工する薬液注入工法である。従来工法に比べて注入材の浸透性能が大幅に向上し高品質の改良体を形成する。ゲルタイムの長い注入材を用いて確実に浸透させるため、広範な液状化対策や隆起変状が懸念される構造物の近接施工に適する。	工法	共通工	薬液注入工	薬液系	水ガラス系					技術提供が可能な地域：全国 機械の保有台数：4台×2社＝8台		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=CB-180008
4	ハイグリップグラウト工法	CB-180028	A	本工法は、薬液注入工事にて使用する注入工法である。本工法では、地山パッカによる削孔穴からの薬液漏洩防止機能の強化,特殊シール材による大きな薬液浸透源の確保,薬液注入の集中管理システムによる注入管理の効率化により従来工法と比較して注入効率を高めている。	工法	共通工	薬液注入工	薬液系	特殊シリカ系					技術提供可能地域：全国 機械保有台数：自動計測ミキシングプラント8台（愛知県8台）、集中管理装置10台（愛知県10台）		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=CB-180028
5	Newスリーブ注入工法	KT-190012	A	本技術は、注入材料の吐出・浸透注入区間を長くした薬液注入工法で、従来はダブルパッカー工法で対応していた。本技術の活用により、注入作業の高速化と注入孔数が削減され、経済性の向上と工期短縮が図れます。	工法	共通工	薬液注入工	薬液系	水ガラス系					汎用型の機械で施工可能。		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-190012
6	パーマロックASFシリーズ	KT-190051	A	本技術は薬液注入工法に用いる液状化対策用溶液型恒久注入材で、従来はセメント系固化材(JG-1号)で対応していた。本技術は土粒子間浸透による改良であり、地盤構造を破壊せずに大量の建設泥土も発生しない、小型設備での対策が可能であり、経済性の向上が図れます。	材料	共通工	薬液注入工	薬液系	特殊シリカ系					施工機械は，兵庫県と群馬県の機械センターで保有しているが，稼働状況により適宜確認が必要。		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-190051
7	耐久性無機溶液型シリカゾルグラウトシリーズ	KT-200081	A	本技術は、地盤改良に用いる注入材で水ガラスの劣化を抑えたシリカゾルをベースとした無機溶液型シリカゾルグラウトであり、従来は溶液型水ガラスグラウト（有機系）で対応していた。本技術の活用によりシリカの溶脱を抑え、改良体の耐久性・改良地盤の経済性が向上する。	材料	共通工	薬液注入工	薬液系	水ガラス系					汎用型の機械で施工が可能。		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-200081
8	懸濁型超微粒子複合シリカグラウト「ハイブリッドシリカ・シリーズ」	KT-220015	A	本技術は、地盤改良に用いる高強度薬液注入材で、従来は、高圧噴射二重管工法のセメント系固化材で対応していた。本技術の活用により、従来技術で見られた建設汚泥処理が減少するため経済性向上・周辺環境への影響が抑制される。	材料	共通工	薬液注入工	薬液系	その他					汎用性のある施工機械であり，台数等の制限はない。		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-220015
9	二重管ストレーナ工法用比例注入装置「プロポーション注入工法」	QS-240013	A	本技術は薬液注入工に関する技術である。従来は瞬結・緩結切替えでタイムラグが発生しpH・ゲルタイムも瞬時に確認できなかった。新技術では瞬時に切替えられpH・ゲルタイムも瞬時に確認でき、注入材にシリカゾルグラウトを用いることで単価が抑えられ経済性が向上する。	工法	共通工	薬液注入工	薬液系	水ガラス系					全国（機械保有：東京都，北海道，宮城県，千葉県，大阪府，福岡県）		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=QS-240013
10	生分解性プラスチックを用いた薬液注入管「バイオパイプ・シリーズ」	QS-260005	A	本技術は薬液注入工に関する技術である。従来は、硬質ポリ塩化ビニル製の注入管が地中に長期間残存していたが、新技術では生分解性プラスチック製の注入管を使用することにより、微生物の働きによって炭酸ガスと水に分解される。これにより、環境負荷の低減が期待される。	材料	共通工	薬液注入工	薬液系	その他					/		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=QS-260005